

日本史

I 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

9世紀半ば、天皇家との結びつきを強めた藤原家とくに北家が勢力をのぼした。北家の藤原冬嗣は嵯峨天皇の信任を得て [1] になり、天皇家と姻戚関係を結んだ。858年、藤原冬嗣の子の [2] は幼少の清和天皇を即位させ、天皇の外祖父として摂政になった。884年、光孝天皇に特に許されて関白となった [3] は、888年、宇多天皇が即位にあたって出した勅書を撤回させて、関白としての政治的地位を強化した。 [3] の死後、宇多天皇は摂政・関白をおかず、(A)菅原道真を重く用いたが、続く(B)醍醐天皇の時、藤原時平は策謀を用いて菅原道真を政界から追放した。醍醐天皇とその子の村上天皇の時代には、摂政・関白がおかれずに親政がおこなわれたが、村上天皇の死後、969年に [4] が起こり、醍醐天皇の子で左大臣の源高明が左遷されると、藤原氏北家の勢力は不動のものとなった。摂政・関白は藤原氏の中で最高の地位にあるものとして絶大な権力を握ったため、摂関家の内部では摂政・関白の地位をめぐる争いが続いたが、藤原道長の時におさまった。藤原道長は30年にわたって朝廷で権勢をふるい、そのあとを継いだ [5] は、約50年にわたって摂政・関白をつとめ、摂関家の勢力は安定していた。

10世紀の初めになると、律令体制のいきづまりや財政難に直面した政府は、国司の交替制度を整備し、任国に赴任する国司に大きな権限と責任とを負わせるようにした。この地位は、やがて(C)受領と呼ばれるようになった。課税の対象となる田地は、名という徴税単位に分けられ、それぞれの名には [6] と呼ばれる請負人の名がつけられた。こうして、律令体制の原則は崩れ、土地を基礎に受領が徴税する体制ができていった。一方で、受領以外の国司は、赴任せずに収入を得るという遙任がさかんになった。

10世紀から11世紀頃、大陸文化を踏まえ、これに日本人の人情や嗜好を加味し、さらに日本の風土に合うように工夫した、優雅で洗練された文化が貴族社会を中心に生まれてきた。これを(D)国風文化という。国風文化を象徴するのは、かな文字の発達である。かな文字が発達した結果、『源氏物語』や『枕草子』に代表されるように、多くの文学作品が生まれた。また、国風化の傾向は、芸術工芸の面でも著しかった。貴族の住宅は、 [7] と呼ばれる日本風のものになり、建物内部は襖や屏風で仕切られた。これらには、なだらかな線と上品な彩色とをもち、日本の風物を題材とする [8] が描かれた。

この時期の仏教は、天台宗、真言宗の2宗が祈祷を通じて現世利益を求める貴族と強く結びつき、圧倒的な勢力をもっていた。一方で、現世利益を求める信仰と並んで、現世の不安から逃れようとする浄土教も流行してきた。10世紀半ば、 [9] が京の市で浄土教の教えを説き、ついで、源信が『往生要集』を著して念仏往生の教えを説くと、浄土教は貴族をはじめ庶民のあいだにも広まった。この信仰は [10] によっていっそう強められた。浄土教の流行にともない、これに関係した(E)建築、美術作品が数多くつくられた。

- 問1 文中の空欄 **1** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 検非違使 ② 勘解由使 ③ 蔵人頭 ④ 征夷大將軍
- 問2 文中の空欄 **2** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 藤原良房 ② 藤原良門 ③ 藤原兼通 ④ 藤原伊周
- 問3 文中の空欄 **3** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 藤原兼家 ② 藤原実頼 ③ 藤原道隆 ④ 藤原基経
- 問4 文中の空欄 **4** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 承和の変 ② 薬子の変 ③ 安和の変 ④ 応天門の変
- 問5 文中の空欄 **5** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 藤原頼通 ② 藤原忠平 ③ 藤原元命 ④ 藤原隆家
- 問6 文中の空欄 **6** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 名主 ② 負名 ③ 夫役 ④ 所従
- 問7 文中の空欄 **7** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 書院造 ② 権現造 ③ 数寄屋造 ④ 寝殿造
- 問8 文中の空欄 **8** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 浮世絵 ② 唐絵 ③ 大和絵 ④ 錦絵
- 問9 文中の空欄 **9** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 空也 ② 西行 ③ 円珍 ④ 叡尊
- 問10 文中の空欄 **10** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 専修念仏 ② 悪人正機 ③ 神本仏迹説 ④ 末法思想

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問13)に答えなさい。

1651年4月に3代将軍 **16** が死去し、8月に子の徳川家綱が11歳で4代将軍となったことで、幕政は大きく転換していく。他方、1662年には、**17** が明を滅亡させて、半世紀に近い動乱の続いた中国においても新しい秩序が生まれた。その結果、(A)東アジア全体に平和が訪れ、日本国内でも (B)島原の乱を最後に戦乱は終止した。

すでに幕府機構は整備され、(C)社会秩序は安定しつつあったが、平和が続く中で重要な政治課題となったのは、戦乱を待望する牢人や、秩序におさまらない「かぶき者」の対策であった。1651年7月に兵学者由井正雪の乱 (**18** の変) がおこると、幕府は大名の末期養子の禁止を緩和し、牢人の増加を防ぐ一方、江戸に住む牢人とともにかぶき者の取締りを強化した。

1657年の **19** の大火による江戸城と市街への甚大な被害からの復興を果たした1663年、成人した徳川家綱は代替わりの (D)武家諸法度を発布し、あわせて殉死の禁止を命じ、主人の死後は殉死することなく、跡継ぎの新しい主人に奉公することを義務づけた。翌年には、すべての大名にいっせいに領地宛行状を発給して将軍の権威を確認し、また幕領のいっせい検地をおこなって幕府の財政収入の安定もはかった。

一方、諸藩においても、安定した平和が続いたことで軍役動員の負担が軽減したうえに、**20** の飢饉が転機となって、藩政の安定と領内経済の発展がはかられるようになった。諸大名は有能な家臣を補佐役にして領内の支配機構を整備し、藩主の権力を強化した。また治水工事・(E)新田開発によって農業生産を高めて財政の安定をはかったが、参勤交代・手伝普請などの支出から、必ずしも藩財政にゆとりは生じなかった。(F)いくつかの藩では、藩主が儒者を顧問にして藩政の刷新をはかった。

17世紀後半には5代将軍徳川綱吉の政権が成立し、いわゆる元禄時代がはじまった。徳川綱吉の時代は、幕府財政も転換期を迎えた。前代の **19** の大火後の江戸城と市街の再建費用は大きな支出となり、(G)幕府財政の破綻をまねいた。

元禄時代には、前代までの公家・僧侶・武士や特権的な町人などの富裕層のみならず、一般の町人や地方の商人、また有力百姓に至るまで多彩な文化の担い手が生まれた。この時期の文化を、(H)元禄文化と呼ぶ。

また、幕藩体制の安定とともに、(I)儒学のもつ意義は増大した。社会における人びとの役割(職分)を説き、上下の身分秩序を重んじる考え方がのぞまれたからである。儒学の発達は、合理的で現実的な考え方という点で他の学問にも大きな影響を与えた。

自然科学では、本草学や農学・医学など実用的な学問が発達し、**21** の『大和本草』などが広く利用された。

問1 文中の空欄 **16** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 徳川家康 ② 徳川家光 ③ 徳川家宣 ④ 徳川家継

問2 文中の空欄 **17** に入る国名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 宋 ② 南宋 ③ 清 ④ 中華民国

問3 文中の空欄 **18** ～ **20** に入る語句を次の①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 慶長 ② 元和 ③ 寛永 ④ 正保
⑤ 慶安 ⑥ 明暦 ⑦ 延宝 ⑧ 貞享

問4 文中の空欄 **21** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 貝原益軒 ② 宮崎安貞 ③ 関孝和 ④ 渋川春海

問5 下線部(A)について、江戸時代における朝鮮通信使に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **22** にマークしなさい。

- ① 将軍の代替わりに際して派遣されたため、計14回、日本を訪れた。
② 初期は、文禄・慶長の役で日本へ連行されたままの朝鮮人捕虜の返還を目的としていた。
③ 幕府は、朝鮮使節を日光東照宮に参詣させた。
④ 新井白石は、これまでの使節待遇が丁重にすぎたとして、簡素化した。

問6 下線部(B)をおこした一揆勢の多くが信仰し、乱後もきびしく監視された宗教を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **23** にマークしなさい。

- ① 一向宗 ② キリスト教 ③ 修験道 ④ 日蓮宗不受不施派

問7 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **24** にマークしなさい。

- ① 武家の女性も長子であれば家督相続が認められていた。
② 村は、名主・組頭・百姓代からなる村方三役を中心とする本百姓によって運営された。
③ 村民は数戸ずつ五人組に編成され、年貢の納入や犯罪の防止に連帯責任を負わされた。
④ 城下町は、武家地・寺社地・町人地など、身分ごとに居住地がはっきり区分された。

問 8 下線部(D)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **25** にマークしなさい。

- ① 大名の居城は一つに限られていた。
- ② 大名には参勤交代が義務づけられ、大名の妻子は江戸に住むことを強制された。
- ③ 徳川綱吉は、第1条の「文武弓馬の道」を、主君に対する忠と父祖に対する孝、そして礼儀による秩序を武士に要求する内容に改めた。
- ④ 朝廷や公家、僧侶にも遵守することが求められた。

問 9 下線部(E)について、江戸時代に大規模な干拓がおこなわれた海浜や湖沼に該当しないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **26** にマークしなさい。

- ① 備前児島湾 ② 八郎潟 ③ 有明海 ④ 下総椿海

問 10 下線部(F)のような政治をおこなった藩主のうち、徳川家綱の叔父で幼少の将軍を支えた人物を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **27** にマークしなさい。

- ① 水戸光圀 ② 池田光政 ③ 保科正之 ④ 前田綱紀

問 11 下線部(G)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **28** にマークしなさい。

- ① 徳川綱吉が日光社参を実行して莫大な出費がかさんだ。
- ② 萩原重秀は、貨幣の改鑄を上申し、金の含有率を減らした小判を発行した。
- ③ 富士山が大噴火し、駿河・相模などでは火山灰による大規模な被害が発生した。
- ④ 護国寺や寛永寺、増上寺など、引き続く寺社造営改築費用がかさんでいた。

問 12 下線部(H)の美術分野とその分野で活躍した主な人物の組み合わせとして正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **29** にマークしなさい。

- ① 浮世絵 — 菱川師宣 ② 蒔絵 — 俵屋宗達
- ③ 京焼 — 住吉具慶 ④ 友禅染 — 野々村仁清

問 13 下線部(I)に関する記述として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を 30 にマークしなさい。

- ① 朱子学は、知行合一の立場で現実を批判してその矛盾を改めようとするなど革新性をもっていたために、幕府から警戒された。
- ② 陽明学は、大義名分論を基礎に、封建社会を維持するための教学として幕府や藩に重んじられた。
- ③ 南学から出た山鹿素行は、神道を儒教流に解釈して垂加神道を説いた。
- ④ 荻生徂徠は政治・経済にも関心を示し、統治の具体策を説く経世論に道を開いた。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

〔31〕を擁する旧幕府側は、1868(明治元)年1月、大坂城から京都に進撃したが、〔32〕で新政府軍に敗れ、〔31〕は江戸に逃れた。新政府はただちに、〔31〕を朝敵として追討する^(A)東征軍を發したが、江戸城は、〔31〕の命を受けた〔33〕と東征軍参謀西郷隆盛の交渉により、同年4月に無血開城された。1年半近く続いたこの内戦を戊辰戦争という。

戊辰戦争が進む中で、新政府は政治の刷新を進めた。まず1868(明治元)年1月には諸外国に対して王政復古と天皇の外交主権掌握を告げて対外関係を整え、ついで3月には五箇条の誓文を公布した。また同年閏4月には、^(B)政体書を制定して政府の組織を整えた。そして新政府は藩制度の全廃を決意し、1871(明治4)年、まず薩摩・長州・〔34〕の3藩から御親兵をつのって軍事力を固めたうえで、7月に^(C)廢藩置県を断行した。

国内統一と並行して、封建的身分制度の撤廃も進められ、いわゆる^(D)四民平等の世になった。また、近代化政策を進めるうえで、重要な課題である財源の安定を目指して、^(E)土地制度・税制の改革がおこなわれた。貨幣制度では、1871(明治4)年に金本位をたてまえとする〔35〕が定められ、十進法が採用され、そして円・銭・厘を単位に新硬貨がつくられた。

明治初期の国民生活においては、文明開化と呼ばれる新しい風潮が生じて、ジャーナリズムなどを通して大都市を中心に広まり、部分的には庶民の風俗・習慣にも浸透した。^(F)人びとの生活様式は、日本風と西洋風とが入りまじるようになった。思想界ではそれまでの儒教・神道による考え方や古い習慣が時代遅れとして排斥され、かわって自由主義・個人主義などの西洋近代思想が流行し、天賦人權の思想がとなえられた。^(G)福沢諭吉の著作やスマイルズ、ミルの翻訳書などが新思想の啓蒙書としてさかんに読まれ、国民の考え方を転換させるうえで大きな働きをした。

日清戦争前後には、啓蒙主義や合理主義に反発して、感情・個性の躍動を重んじる^(H)ロマン主義文学が日本でもさかんになった。西洋画は高橋由一らによって開拓されたのち、一時衰退を余儀なくされたが、浅井忠らによる日本初の西洋美術団体である〔36〕の結成やフランスで学んだ黒田清輝の帰国によって、しだいにさかんになった。伝統美術も、岡倉天心らの〔37〕を中心に、多くの美術団体が競合しながら発展していった。

問1 文中の空欄〔31〕に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 徳川家定 ② 徳川慶福 ③ 徳川慶喜 ④ 徳川家慶

問2 文中の空欄〔32〕に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 上野戦争 ② 長岡城の戦い ③ 箱館戦争 ④ 鳥羽・伏見の戦い

問3 文中の空欄 **33** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大久保利通 ② 三条実美 ③ 高杉晋作 ④ 勝海舟

問4 文中の空欄 **34** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 肥後 ② 水戸 ③ 加賀 ④ 土佐

問5 文中の空欄 **35** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 金銀複本位制 ② 新貨条例 ③ 貨幣法 ④ 国立銀行条例

問6 文中の空欄 **36** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 白馬会 ② 二科会 ③ 共進会 ④ 明治美術会

問7 文中の空欄 **37** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 工部美術学校 ② 帝国美術院 ③ 日本美術院 ④ 日本民芸館

問8 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **38** にマークしなさい。

- ① 豪農・豪商がみずから組織した奇兵隊を率いて参加した。
② 東海・東山・北陸の3道から進軍した。
③ 相楽総三らの赤報隊は幕府領での年貢半減を掲げて、農民の支持を得た。
④ 有栖川宮熾仁親王が東征大総督をつとめた。

問9 下線部(B)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **39** にマークしなさい。

- ① 国家権力を太政官と呼ぶ中央政府に集めた。
② アメリカ合衆国憲法を模倣した三権分立制を取り入れた。
③ 高級官吏を4年ごとに互選で交代させた。
④ 太政官を三院制とし、右院は立法機関であった。

問 10 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **40** にマークしなさい。

- ① 旧大名である知藩事は罷免されて地方居住を命じられた。
- ② 初め1使・3府・72県となった。
- ③ 中央政府が派遣する府知事・県令が地方行政に当たった。
- ④ 知事は府知事・県令に改称され、雄藩の上級武士の中から新たに任命された。

問 11 下線部(D)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **41** にマークしなさい。

- ① 藩主や公家を華族、藩士や旧幕臣を士族とした。
- ② 移住・職業選択の自由が認められた。
- ③ 男女の差別がなくなり、同じ義務をもつ国民が形成された。
- ④ 新たな族籍にもとづく統一的な戸籍編成がおこなわれた。

問 12 下線部(E)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **42** にマークしなさい。

- ① 田畑永代売買の禁止令は継続された。
- ② 地券を発行して土地の所有権を認めた。
- ③ 農民は負担の軽減を求めて各地で地租改正反対の一揆をおこした。
- ④ 地租改正に着手し、課税の基準を不安定な収穫高から一定した地価に変更した。

問 13 下線部(F)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **43** にマークしなさい。

- ① 電灯が大都市の全域で実用化された。
- ② 京都で路面電車が開通した。
- ③ 女性の髪形として日本髪にかわって束髪が考案された。
- ④ 大手呉服店がデパート型の小売を開始した。

問 14 下線部(G)が著した書籍として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **44** にマークしなさい。

- ① 『西洋事情』
- ② 『自由之理』
- ③ 『学問のすゝめ』
- ④ 『文明論之概略』

問 15 下線部(田)と関連する人物として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を
45 にマークしなさい。

- ① 夏目漱石 ② 徳富蘆花 ③ 森鷗外 ④ 坪内逍遙